

会報

茨城

一般社団法人 茨城県建築士事務所協会

IBARAKI

77
2023 JAN

The Bulletin of Ibaraki
Association of
Architectural Firms

<https://www.i-jk.org>

首長インタビュー [大子町長にきく]

「待ちの行政」から 「動く行政」へ

全方位、アウトドア。自然基地大子町





01 令和5年 年頭のご挨拶
一般社団法人 茨城県建築士事務所協会 会長 舟幡 健

02 令和4年度
年末懇親会開催される

04 第37回 会員親睦ゴルフ大会

05 2022年 表彰
賛助会新幹事一覧

06 第58回
「明日を創る建築講座」参加報告

08 全国大会「熊本大会」参加報告

09 [連載] 令和3年度 スキルアップセミナー
木構造デザインの可能性 第2回

13 [特集] 首長インタビュー 大子町長にきく
「待ちの行政」から
「動く行政」へ

17 第5-6回 水戸まちなか空き店舗見学ツアーに同行して

18 建築士事務所協会キャンペーン
in 建設フェスタ2022

22 第36回 建築文化賞公募のお知らせ

23 第9回 学生建築展公募のお知らせ

24 新会員紹介／会員変更事項一覧／編集後記

会報
茨城

題字／大井川 和彦(茨城県知事)

一般社団法人 茨城県建築士事務所協会
2023年1月 第77号

<https://www.i-jk.org>

77
2023 JAN

表紙の写真

「茨城のジャンダルム(生瀬富士)標高406m」
は、袋田の滝の北側にあり山頂部が立派な岩稜
となっている。尾根先に北アルプス穂高岳のジャン
ダルムとそっくりな天使のプレートがあり、最近
ハイカーの間で人気のスポット。



表紙の写真／生瀬富士(大子町)
裏表紙の写真／大子町役場新庁舎

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
また、平素より、協会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスのオミクロン株による感染者の急増やウツドショックの影響が続き、また昨年2月にはロシアによるウクライナ侵攻や円安による建設資材、燃料高騰など建築業界の環境の悪化が進んでいる状況にあります。

当協会におきましても、昨年5月の通常総会後の懇親会、7月の大納涼会等は感染状況を踏まえ中止とさせて頂きましたが、12月の年末懇親会は感染防止策を十分に講じて開催し、会員の皆様と歓談することができ、有意義な時間を過ごすことができました。

そして、新しい年、令和5年を迎えましたが、コロナ禍に関しては感染対策と社会経済活

動の両立を図っており、少しずつ明るい兆しが見え始めています。このような状況の中、協会活動につきましては、感染防止策を考慮して、コロナ禍によって滞っていた事業の活性化を図って参ります。

一方、3年続いているコロナ禍は、協会事業等を見直すきっかけにもなっています。

課題が顕在化した事業については改善を加えるとともに、新規事業の掘起しを行うなど事業の再構築を図り、ひいては協会の組織強化に繋げて参ります。

また、国においてはデジタル化社会形成に向け

様々な取組みが進められており、建築設計業界においても、今後、BIM等の普及によって設計環境の変化が想定されるとともに、建築物等の省エネ対策の推進が喫緊の課題となっていますので、それらを見据えた講習会等を実施するなど、社会の変化に対応できるよう会員のスキルアップに努めて参ります。国のデジタル化に関しては、建築士事務所登録のオンライン化が令和6年度目標に進められており、昨年8月から一部施行が始まり、当協会でも新規登録の受け付けを開始したところです。

今年度は日事連の単位会組織強化支援事業として「いばらき建築環境デザインプロポーザル」及び「茨城学生建築展」が採択されましたので、それぞれ企画委員会及び景観まちづくり委員会で事業を進めて頂いているところです。この支援事業は令和7年度まで行われますので、会員の皆様には引き続きよろしくお願いたします。

昨年は、幸いにも本県においては新型コロナ以外の大きな災害は発生しませんでした。本年も防災・災害対策に積極的に取組み、建築物の安全・安心の推進に関わっていく所存でございますので、会員の皆様の一層のお力添えをお願い申し上げます。

結びになりますが、本年が皆様にとりまして、より良い年でありますよう心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

一般社団法人
茨城県建築士事務所協会 会長 舟幡 健



令和5年 年頭のご挨拶
2023
Season's greeting
and best wishes for the New Year

令和4年度 年末懇親会開催される

年末懇親会が開催され、正会員、賛助会員の交流の時間を持つことができました。
県政、市政、国政などの今後の展望のお話をいただいたり、日頃よりお世話になっている方々へご挨拶ができたりと今年度も意義ある会ができたことに感謝しております。



会長挨拶/舟幡会長



開会の言葉/小室副会長



中締め/植田代表幹事



山田建築指導課長による乾杯

令和4年度の年末懇親会が12月2日水戸プラザホテルにて開催されました。

昨年度同様、新型コロナウイルス感染が未だ収束しませんが、感染対策並びに、社会的な影響等を十分考慮し、開催することができました。

感染対策を考慮し、各社1名の参加とさせていただき、正会員74名、賛助会員49名、招待者等合わせて140名の方々にご参加いただきました。

午後6時開宴にて、舟幡会長よりご挨拶をいただき、ご多忙中にも拘わらず大井川和彦茨城県知事、田所嘉徳衆議院議員、よりお祝いのお言葉をいただき、また、行政に携わる方々の御参席をいただき、県政、国政、市政、等の近況並びに今後の展望などのお話をいただきました。

あいにく、当日は茨城県議会議員選挙の告示日と重なり、例年御参席いただいている海野透茨城県議会議員、石井邦一茨城県議会議員、西野一茨城県議会議員の

御参席は叶いませんですが、各秘書様の御参席並びに、祝電をいただきました。

その後、参加いただきました方々からの、歳末助け合いチャリティーを茨城新聞文化福祉事業団へ行い、乾杯後宴開催となりました。

昨年同様、学校法人茨城音楽学院 茨城音楽専門学校の卒業生による生演奏会を行いました。

会場内では、開催された懇親会の中、お世話になって



茨城県知事
大井川 和彦 氏



衆議院議員
田所 嘉徳 氏

皆さまの今後のご発展を祝して乾杯



茨城新聞文化福祉事業団/水戸支社長 二方 善郎様へ舟幡会長からチャリティー金の寄附



茨城音楽専門学校の卒業生トリオによる演奏



会場内では、お世話になっている方へのご挨拶や名刺交換があちらこちらで取り交わされ、笑い声の絶えない和やかな雰囲気にもまれ、楽しい時間を過ごした

いる方へのご挨拶や名刺交換が、感染対策を考慮した形で行われ和やかな雰囲気にもわれました。

水戸プラザホテルで、年末懇親会を開催するのは昨年から2回目ですが、会場内はテーブル間のソーシャルディスタンスを十分考慮した配置とし、料理・各種飲み物の提供形式を考慮したうえでの開催の為、ご参加いただいた方々に多少のご不便をおかけしましたが、何とか無事に開催することができましたことを御礼申し上げます。

第37回 会員親睦ゴルフ大会

3年ぶりに会員親睦ゴルフ大会が開催されました。
75名の参加者により熱戦が繰り広げられ、
親睦ゴルフ大会恒例のチャリティー金も寄贈いたしました。



10月5日(水)第37回会員親睦ゴルフ大会が富士カントリー笠間倶楽部で開催されました。

時折小雨混じりの天候でしたが75名の参加者で楽しくプレーが出来ました。正会員と賛助会員の交流の機会としても非常に意義ある大会であります。今回は新型コロナ感染の影響より3年ぶりの大会となりました。

大会は、午前中のハーフスコアによる新ベリア方式で行

い、参加者による熱戦が繰り広げられました。

大会終了後、参加者からチャリティー金を茨城新聞文化福祉事業団へ寄贈いたしました。

成績発表

優勝	秋山 義次	日興建設(株)
準優勝	鈴木 水行	(株)山忠
3位	山田 博則	(株)第一設計

社大なフィールドに広がるダイナミックな27ホールは
ゴルファー本来のチャレンジ精神をかきたてる

富士カントリー笠間倶楽部

〒309-1602 茨城県笠間市池野辺2523番地
TEL 0296-72-8111
FAX 0296-72-8534
URL <http://www.kasama-club.com>

※オンライン予約も承っております

報告 2022年表彰

令和4年 建設事業功労者等 国土交通大臣表彰



おうち けんいち
大内 賢一 氏

(一社)茨城県建築士事務所協会 元常務理事
(株)第一設計 代表取締役



こぐすり たくみ
小薬 拓巳 氏

茨城県建設業協会 常任理事兼筑西支部長
(一社)茨城県建築士事務所協会 元理事
(株)小薬建設 代表取締役社長

令和4年度(一社)日本建築士事務所協会連合会 年次功労者表彰



あいざわ はるお
相澤 晴夫 氏

(一社)茨城県建築士事務所協会 常務理事
(株)相澤建築設計事務所 代表取締役

報告 賛助会新幹事一覧

賛助会員の皆様にはご案内させていただきましたとおり
賛助会総会を书面決議にて開催いたしました。つきまして
は下記のとおり幹事を変更いたしましたので、ご通知いたし
ます。今後ともご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げ
ます。

記

相談役	山崎 文治 (株)山忠
代表幹事	植田 佳男 植田防水工業(株)
副代表幹事	若林 純也 ミナト防災通信工業(株)
	田山 浩之 第一熱学建設(株)
	篠原 啓一 (株)新日東

第一分科会

部会長	佐々木 広行 (株)佐々喜建工
副部会長	上野 道昭 (株)関東エンジニアリングサービス
	飯塚 剛 (株)飯塚工務店

第二分科会

部会長	梅山 智広 (株)梅山工業所
副部会長	田中 邦彦 (株)奈良屋
	山崎晋一郎 (株)山忠

第三分科会

部会長	高田 良道 (株)デバイス
副部会長	照山 光男 (株)千代田興業

第四分科会

部会長	大竹 昌士 (株)フジクリーン茨城
副部会長	鈴木 年彦 センター電機(株)

第五分科会

部会長	藤田 卓也 (株)フジタビジネスマシズ
副部会長	原 智樹 (学)筑波研究学園専門学校

明日を創る建築講座
 日時/令和4年9月3日(土)
 会場/歴史と未来の交流館
 報告/広報委員会委員長 山田 一博

第58回「明日を創る建築講座」 参加報告

今回は東海村にある「歴史と未来の交流館」で研修委員会主催の視察研修が行われました。



見学の様子(左手 館内の説明をする講師の鈴木教久氏)

去る9月3日(土)研修委員会主催の視察研修が行われました。今回は、第35回茨城建築文化賞 土木部長賞に輝いた「歴史と未来の交流館」という東海村所有の公共建築物視察となりました。東海村の文教ゾーンの一部に新たな建物が誕生し、周辺環境も併せて整備されています。幅広い世代が交流し、東海村の歴史を学びながら郷土愛を育むことができる地域に開かれた施設です。

当施設は、プロポーザルで選出された(株)梓設計が設計・監理をされました。担当した鈴木教久(すずきのりひさ)氏と鈴木彬史(すずきあきふみ)氏お二人をお招きし、また、当館館長の深見孝志氏を講師としてお迎えしました。最初に施設内の会議室にて概要や基本的な考え、運営等について講話頂きました。その後は、施設を担当した鈴木彬史氏を中心に見学者と共に内外を歩き、案内頂き

ました。設計で注意した点や工夫したディテールなど、現場の空間を実際に目の前にして丁寧なお話を伺うことができました。

元々敷地は、森林だったとことで現況樹木等を調査し、残せる樹木は残しながら建物の目の前に大きな広場を設けてあります。施設の特徴は、この明るい開放的な屋外広場と様々な活動を覆う大屋根にあります。コンセプトがきちんと具現化されている印象的な環境が創出されています。あらためて建築は機能だけの存在でなく、地域に根付いた周囲を取り込んだ環境づくりをしなければならないと実感しました。今回の視察は、定員の40名に及ぶ見学者が参加しました。各々の目線で熱心に見学し、研修の最後の時間帯に質問応答の時間も、次の仕事につながる何かを持って帰ることができた充実の施設研修となりました。



見学の様子(中央の講師お二人 左から鈴木彬史氏と鈴木教久氏)



座学(講義)の様子(館長の深見孝志氏)



株式会社 **鎌田建築アトリエ**
 Architects Design Atelier

代表取締役 鎌田 富士夫

〒 310-0851
 茨城県水戸市千波町931-3
 TEL : 029-244-2450
 FAX : 029-244-2451
 kamata-f@lapis.plala.or.jp



(一社)関東地質調査業協会 所属
 茨城県地質調査業協会 所属
 国土交通大臣登録業者

常磐地下工業株式会社
 代表取締役社長 伊藤 美智子

本社 〒317-0056 茨城県日立市白銀町2丁目24番11号 TEL 0294-22-8196 FAX 0294-22-9852
 水戸営業所 〒310-0851 茨城県水戸市千波町1656-25-102 TEL 029-353-6716 FAX 029-353-6717
 ひたちなか営業所 〒312-0062 茨城県ひたちなか市高場2丁目13番4号 TEL 029-212-7660 FAX 029-212-7661

OOMA 株式会社 大山都市建築設計
 Oyama Office for Metropolitan Architecture
<https://ooma.co.jp>



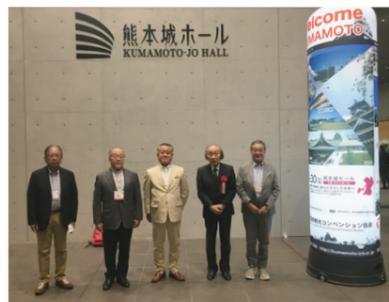
〒309-1106 茨城県筑西市新治1996-56
 TEL. 0296-21-7005 FAX. 0296-21-7006
 OOMA-MITO 水戸設計室
 〒310-0041 茨城県水戸市上水戸3-5-15-102
 TEL. 029-291-6340 FAX. 029-291-6341
 E-mail: info@ooma.co.jp

全国大会「熊本大会」参加報告

今回は、3年ぶりとなる建築士事務所協会全国大会を熊本市の熊本城ホールにて開催されました。



式典の様子



茨城会の皆様



歴代年次功労者
小沼/宮本/相澤 各常務理事

連載

木構造デザインの可能性 第2回

山田憲明(山田憲明構造設計事務所)氏に最近の木構造のデザインの可能性について全2回で学びます。



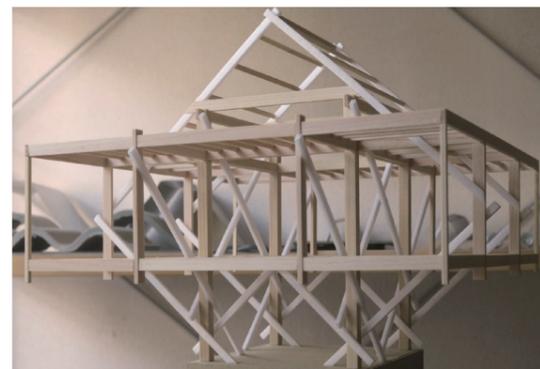
山田 憲明
Yamada Noriaki

1973年 東京都青梅市生まれ
1997年 京都大学 工学部建築学科卒業
1997年~2012年 増田建築構造事務所
2012年 山田憲明構造設計事務所を設立
2013年~ 早稲田大学 非常勤講師
2021年~ 東京理科大学 非常勤講師
2022年~ 日本女子大学 非常勤講師
早稲田大学芸術学校 非常勤講師

2.大径製材の可能性

1 高浜の高床

建築史家の住宅である。大径木材を採用することで曲げ性能の向上と仕口による断面欠損率の低減が図られ、ラーメンや方杖構造への可能性が広がる。この住宅では、4本の通し柱と井桁状の2階床梁に240mm角のスギ大径木材を用い、同一部材に最大4方向の筋交を取り付けられる接合ディテールを考案し、2.73mもの四方跳ね出しとピロ



高浜の高床
構造模型(撮影:福島加津也+
富永祥子建築設計事務所)

ティという難易度の高い構造を同時に実現している。

一般的に木造の接合部は木材に切削加工を施す「引き算」の考え方であるため、1カ所に多数の部材が集まる接合部を設計するのは大変難しい。圧縮力の伝達だけでなく、大きな引張耐力ももたせる場合はなおさらである。この住宅は、立体的な筋交構造であるがゆえにこの厳しい条件が組み合わさっているが、各木材に平鋼を象嵌した部材同士をボルト接合する方法を考案して問題を解決している。応力伝達は、木材から平鋼へは支圧とビスのせん断によって、平鋼同士は1本のボルトを介したメタルタッチによって効率よくなされ、筋交角度に対するフレキシビリティを有する。このディテールは、平鋼長さの調節によって性能をシームレスにコントロールできる接合方法であるだけでなく、部材全長に渡って平鋼を象嵌することで、木材と鋼材のハイブリッド部材へと変容する拡張性をもつ。



高浜の高床 四方跳ね出しとピロティを持つ外観(撮影:小川重雄)

「大自然の脅威に耐えて今 そして未来へ」が大会テーマ

去る令和4年9月30日、第44回建築士事務所協会全国大会(熊本大会)が、熊本市の熊本城ホールにて、「大自然の脅威に耐えて今 そして未来へ」を大会テーマに開催されました。

コロナの影響により、本会の開催は、令和元年第43回福島大会後、実に3年ぶりの開催となりました。

大会では、建築家の伊東豊雄氏による「これからの社会と建築を考える」と題した基調講演の後に、熊本大学大学院教授・田中智之氏をコーディネーターに、大西一史氏、西村浩氏、泉英明氏、山下裕子氏、4人のパネラーが登壇し、「これからの人・まち・建築を、熊本から考える」をテーマに幅広く語られました。

大会式典では、日時連建築賞表彰、年次功労賞表彰等

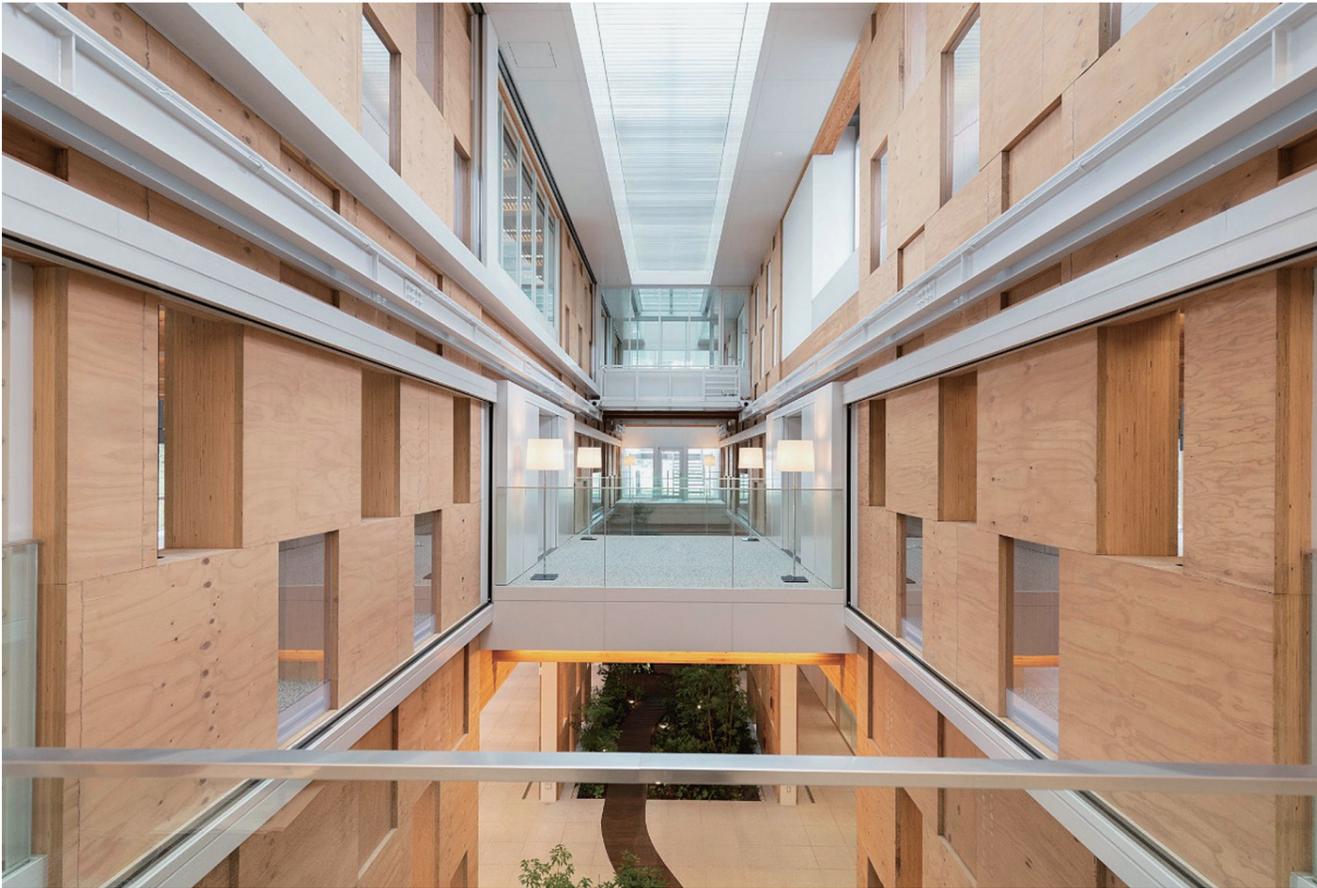
が行われ、全国の建築士事務所協会会員、来賓を合わせ、1,100余名の参加があり、当茨城会からは、会長、副会長を含め16名の参加となり、本単位会からは相澤晴夫 常務理事が年次功労者として表彰されました。

大会式典前日の29日には、「つながる建築、つなぐ人〜ブロック青年部会の構築、その先へ〜」をテーマに、若手建築士を中心とした『青年話創会2022熊本大会』が開催され、全国から役150名の参加があり、活発な意見交換が行われました。

次回の第45回建築士事務所協会全国大会は、初の鳥取・島根の共同開催となり、令和5年10月13日(金)に米子市で開催されます。今年参加できなかった方も、来年は参加してみたいかでしょうか。

3.プレストレスト木構造の可能性

1 住友林業筑波研究所新研究棟



住友林業筑波研究所新研究棟 アトリウム内観

本研究所は、住友林業グループの研究拠点になるとともに、その成果を体感できるパビリオンとしての役割を期待されおり、研究所としてのスペックはもちろんのこと、研究開発が誘発かつ継続されるように、施設建設のプロジェクト自体に新規性と汎用性を持たせる必要があった。そこで、住友林業が近年取り組んでいる木造のプレストレスト(PS)構法を発展させた「PS積層ブロック壁柱」を開発し、建物に採用している。この壁柱はLVLブロックを組積造のように積層してPSの圧着で一体化した水平耐力要素で、1枚当たり500kNの短期許容耐力を有する。組積要素として石や煉瓦よりはるかに軽い木質材料用いることで削孔・運搬・建方を容易にしながら、PSを用いることで膨大な数の素材接合面の離間という組積造の根本的な課題を解決し、更

に、接合ディテールの簡素化、透過性の向上、積層パターンの多様化を可能にする。この高耐力の壁柱を、北西と南東のコア部分およびそれらを繋ぐアトリウムに、平面的にS字状に集約させることでオフィス・ギャラリー・会議室等の開放性と耐震性を両立させている。

床構造にRC造スラブ(t=80mm)とCLTパネル(t=90mm)を重ねたスラブを用いて遮音性と水平構面の性能を高めるとともに、面内力の伝達時に外周縁部分に発生する大きな軸力をRC造スラブに負担させて外周梁をなくすことで、1,820mmピッチに並べた集成材の小梁と小柱によるL形フレームが強調され、オフィス空間のリズムを生み出している。

4.丸太材の可能性

1 上勝町ゼロ・ウェイストセンター

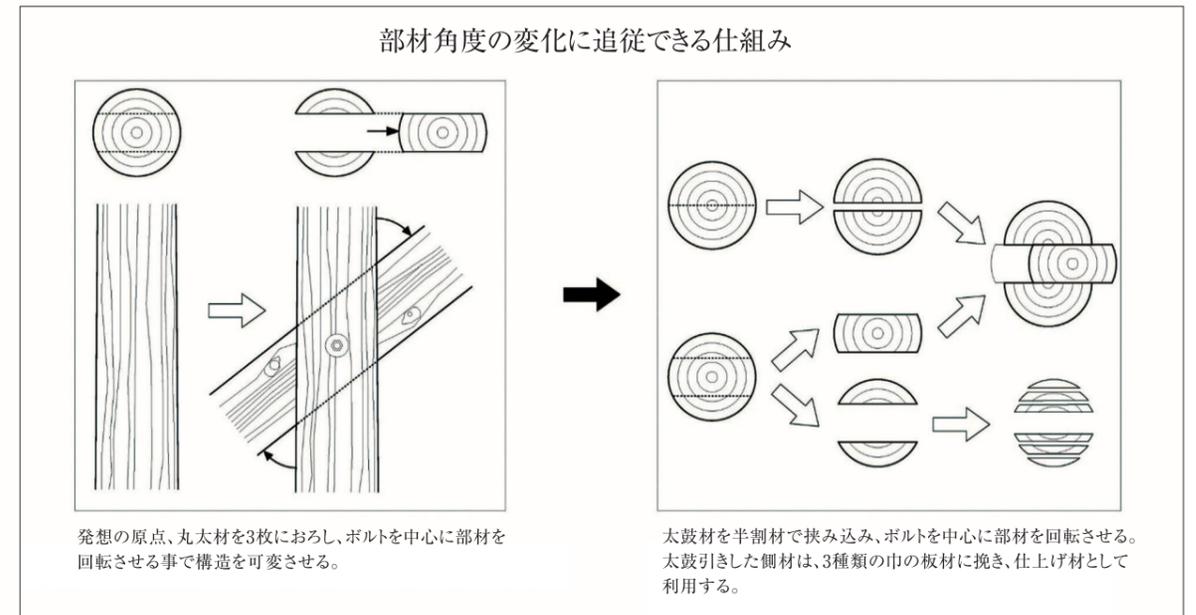
馬蹄形の大屋根の下に、使用条件が全く異なる開放性の高い屋内外空間が並ぶ計画に対し、町内産杉丸太の活用とゴミゼロを踏まえ、形態に対する融通性を持ちながらも統一性のある構造システムをいかに構築するかが最大の課題であった。そこで鉛直・水平力の両方を負担可能な3ヒンジの静定平面フレームをトラスとピン柱を組み合わせて構成し、これを馬蹄形の中心軸に添って徐々に構造形態を変化させながら並べることを考えた。即ちトラスの柱脚位置を、屋内では内部スペースの空間効率と水平耐力を高めるために外側に、屋外では雨仕舞とごみ運搬の動線に配慮し中央付近に寄せることで、機能と構造形態の融合をはかった。フレームは、シングルの太鼓材とダブルの半割材を組み合わ



上勝町ゼロ・ウェイストセンター
丸太材の架構形態が空間の使用条件によって変化する(撮影:藤井浩司(TOREAL))

せて構成することによって、部材同士の接合面を平らにするのと同時にトラス接合部の混雑を解消し、丸太材を用いる際に常に課題となる乾燥・墨付・加工・組立の困難を解決した。

接合部は、内蔵した鋼製シアリングにより支圧面積を大きくすることで1本のボルト留めを可能にし、形態の変化に追従できるディテールを考案した。



上勝町ゼロ・ウェイストセンター 3枚におろした丸太で架構の形態を変化させるアイデア

**令和3年度スキルアップセミナー
「木構造デザインの可能性」を開催しました**

日時/令和4年2月19日(土)
会場/茨城県開発公社 4階大会議室
主催/研修委員会
講師/山田憲明氏(写真下段中央)
株式会社 山田憲明構造設計事務所

株式会社 山田憲明構造設計事務所 〒141-0021 東京都品川区上大崎1-5-63 エクセレント白金台202 Tel 03-6277-1375



DS DAIICHI SEKKEI 株式会社 第一設計
代表取締役 大内 賢一

【本社】〒312-0024 ひたちなか市勝倉 2671-1
【大平事務所】〒312-0023 ひたちなか市大平 3-5-3
TEL: 029-274-3056 FAX: 029-274-4604 E-MAIL: daiichi@intio.or.jp
URL: <http://www.daiichi-design.jp>



大子町役場



大子町役場新庁舎

「待ちの行政」から 「動く行政」へ



大子町長
高梨 哲彦

明けましておめでとうございます。清々しい新春をご健勝でお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

茨城県建築士事務所協会の皆さまにおかれましては、県内各地でご活躍のことと推察いたします。また、日頃より本町の行政運営と公共事業の推進に多大なるご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

また、一般の災害時における救助・復旧に際しましては、絶大なご支援とご尽力を賜り深く感謝いたします。

新たな庁舎への思い

築後60年以上が経過した旧庁舎は、建物や設備等の老朽化や耐震性などの問題により、安全性やバリアフリーが確保できない状態でした。

これらの問題を解消するとともに、大子町が未来に向けてさらに発展していけるよう、平成29年度から、本格的に機能性や利便性、安全性等、多角的な視点から検討を進め、旧庁舎の隣接地での建て替えを計画しておりました。しかし、令和元年東日本台風で旧庁舎敷地が浸水する被害を受けたため、高台への敷地移転を決定し、昨年7月の竣工にいたりました。

最大の特徴は、柱や梁などの構造材を全て木造とする「純

木造」建築です。使用する木材は茨城県産材100%、大子産材は60%としました。お越しになった皆さまには、林業が盛んな大子町を感じていただけるほか、「大子那須楮」を使った美濃和紙や「大子漆」などの特産品を活かした装飾など、町の魅力を建物全体で発信できる庁舎となっております。

さらに、お越しになった方の動線に配慮し、気軽にお立ち寄りいただける町民交流や様々な活動を行うことが出来る交流スペースを整備するとともに、発災時における災害対策本部として即座に対応し、隣の町営研修センターと連携する形で有事の際の防災拠点の一つとなります。

すでに県内外から大きな注目を集め、多くの皆様から視察の問い合わせをいただき、10月以降で500名以上の方に視察をいただいております。新庁舎の視察を通じて、多くの皆様に大子町を訪れていただければと考えております。

新庁舎の誕生を機に、より一層高い行政サービスを目指し、「待ちの行政」から「動く行政」への転換をさらに推し進め、町の活気ある発展につながるよう、「日本一幸せな町づくり」に全力で取り組んでいきたいと考えております。

例えば、マイナンバーカードについて、国では令和4年度末までにほぼ全国民に行き渡ることを目指して普及促進に取組

中川商事株式会社

環境と情報の
アメニティを
創造する

都市と暮らしを支える力になる

中川商事株式会社は、快適で心豊かに暮らせる環境整備を目指し創業以来地域社会に貢献してまいりました。私たちの考える未来は、より安全に安心して暮らせる街づくりです。そのために、私たちは都市と暮らしを支えるサポーターとして、土木・建築・情報通信分野において状況の変化にも柔軟に対応できる創造力豊かなスタッフが、創業以来当社の各事業を支えてきました。これからもお客様の多様なニーズに応え、輝く地域を創造に貢献してまいります。

【事業内容】

- ・ 建築・土木資材販売
- ・ 公園・レジャー施設遊具の企画・販売
- ・ 各種工事請負
- ・ 情報通信システムのハードウェアの販売およびソフトウェアの開発・販売

グループ会社

中川ヒューム管工業(株)	県南陸運(株)
九州中川ヒューム管工業(株)	(株)アクアクララ筑波山
中川ヒューム管工業山陽(株)	(株)ミルク工房もりや
中川理水建設(株)	(株)延増興産
常陽測量設計(株)	(株)スポーツクラブナック

【本社】
〒300-0051 茨城県土浦市真鍋 1-16-11
営業部 TEL. 029-821-3731
FAX. 029-824-6043

【営業所】
水戸支店・鹿島支店・仙台営業所

【URL】 <https://h-nac.co.jp/shoji/>



大子町役場新庁舎



AI乗合タクシー

んでおりますが、大子町では、役場窓口での申請受付だけではなく、町内5つの医療機関やスーパーマーケットに職員が出張して、申請受付等のサポートを行ったり、昨年の参議院選挙では期日前投票にお越し頂いた方にマイナンバーカード申請の説明を行い普及促進を図っております。

また、現在スマートフォンの利用は大変便利になっておりますが、扱いが難しいと感じる高齢者も多いため、昨年5月に包括連携協定を結びました大手通信事業者のNTTドコモと連携して町内の公共施設で出張ドコモショップを開催し、スマートフォンの相談ができる取り組みを今年度から始めました。

こうした「動く行政」をこれまで以上に意識して推し進めてまいります。

動く行政① 災害に強いまちづくり

東日本台風では、旧庁舎も含め、町内全世帯の1割近くに及ぶ広範囲で浸水被害があり、JR水郡線の落橋、道路の陥没など、交通にも大きな支障が生じました。

国や県、JR東日本などの協力をいただきながら、復旧・復興が迅速に進みました。久慈川の治水対策については、目に見える形で堤防整備などの工事が進んでおります。

町では令和3年3月に「大子まちなかビジョン」を策定し、防災力の強化とともに、賑わいや暮らしやすさの向上に向けた事業を並行して進めています。その第一歩として同年、開業後20年以上経過していた道の駅奥久慈だいをリニューアルするとともに、県内では唯一の「防災道の駅」に選定いただきました。今後、旧庁舎跡地を活用して、防災道の駅、観光交流施設やイベント広場など新たな防災・観光拠点の整備を進め、中心市街地周辺の活気や賑わいづくりに取り組んでまいります。

動く行政② 地域公共交通の最適化

町の第3の交通手段として投入した「AI乗合タクシー」は1年間の実証実験を経て、令和2年10月から本格運行を実施しております。

昨年4月には新たに、大子町と新幹線駅的那須塩原駅（栃木県那須塩原市）とを70分、500円で結ぶ「奥久慈おでかけ快速バス」の実証運行を開始しました。首都圏や那須塩原方面からの新たな周遊ルートとして期待でき、本格運行を見据えて検証を進めています。

今後も既存公共交通機関との連携により、町民や観光に訪れた方々が便利に利用できる、よりよい公共交通網の形成を推進してまいります。

動く行政③ 町内外の企業・人との連携

人口減少が著しい大子町では、町内外の企業や人との多様な連携によるまちづくりは大変重要です。

150年を超える古民家を活用した期間限定の「だいが茶房」は、町内外の料理関係者と連携して、大子町の食を提供する事業で、毎回予約でいっぱいになります。大子産米や奥久慈りんご、奥久慈しゃもなど、四季折々の地元食材を活かし、町内外の方に大子の魅力を提供する官民連携事業として、今後も色々なアイデアを追加していきたいと思っております。

引き続き、民間企業と連携した事業を多方面で実施することで、産業活性化や高齢者の福祉につながる先進的な取り組みを推進していきます。

動く行政④ 健康長寿・健康づくり

大子町は県内で最も高齢化が進んでおり、町内のほとんどの介護事業所が人材不足の問題を抱えています。

町では「ICT（情報通信技術）を活用した介護事業所のDX（デジタルトランスフォーメーション）化推進」が必要と考え、経済産業省関東経済産業局主催の「自治体×ヘルステックベンチャー共創プログラム」を通じて国内ベンチャー企業6社を選定しました。都内において福祉分野のコンサルティング業務で活躍する社会福祉法人善光会とも連携し、町内介護事業所のDX化を積極的に進めております。その他、介護事業所と、隙間時間を利用して介護の仕事をした人々をマッチングするサービスであるプラスロボ運営の「Sketter（スケッター）」についても、新たに導入を検討しているところです。

一方で、町民ができる限り介護を必要としないための健康づくりや介護予防の取り組みも重要です。

令和3年度に協定を締結した都内のヘルスケアベンチャー企業のアグリマスは、健康づくり等の豊富な知見やノウハウを持っている企業で、町内介護事業所で太極拳レッスンを実施したり、町が実施している健康づくりなど25事業の効果検証を行っています。また、毎日の生活に運動を取り入れ、楽しく健康づくりを学べるエクササイズ教室を、日中と夜間に毎月開催しています。参加者は増加傾向で、大変好評をいただいております。

ります。

さらに、昨年7月には町内初のスポーツジム「Forespo（フォレスポ）」を大子広域公園フォレスパ大子内にオープンしました。若い方から高齢者、男女問わずご利用いただけるよう、日本人の体形に合わせた機種を15種22台揃えました。そのほか、レディースデイの設定や筋トレ食の提供など工夫しながら運営しています。

動く行政⑤

魅力ある自然を生かした観光・タウンプロモーション

県内有数の観光地である大子町では、本年秋に、本県で開催される茨城デスティネーションキャンペーン（茨城DC）に大きな期待を持っており、大子町の豊富なアウトドアや食を全国に発信し、観光誘客につなげる絶好の機会と捉えています。

豊かな自然の中でのサイクリング環境の充実を進めており、道の駅のリニューアルと併せてオープンした「奥久慈サイクルステーション（レンタサイクル）」では、電動アシスト付きスポーツサイクル（Eバイク）も取り扱い、起伏の大きい「奥久慈里山ヒルクライムルート」も気軽にお楽しみいただけます。また、袋田の滝の観瀑トンネルについても、演出効果を加えた照明のリニューアル工事を進め令和5年度当初竣工へ向け工事を進めているところです。

そのほか、大阪に本社を構えるアウトドア専門企業のメンバーとは、令和3年度に締結した包括連携協定により、大子町の豊かな自然環境を活かした事業を共に検討していけるように努力しています。

昨年度、専門のチームを設置したタウンプロモーションにおいても、キャンプだけでなく、サイクリング、トレイル、釣り、収穫体

験など全てを大子町で体験できるアウトドアと位置付け、「全方位、アウトドア。自然基地大子町」のイメージしやすいコンセプトで町の魅力を発信していきます。

動く行政⑥ 農林業の支援

大子町は、寒暖差の大きい気候や限られた土地、人々の知恵と工夫により、地域特有の農産物が生産され、「大子産米」や「奥久慈茶」「奥久慈りんご」「こんにやく」「常陸大黒」「奥久慈しゃも」などが重要な特産品となっています。

生産者の高齢化や担い手不足などの問題は年々深刻化していますが、労務負担の軽減や作業がしやすい環境づくりなど生産者を支援しながら、農林業の振興を図ってまいります。

昨年度からスマート林業の取り組みを開始し、約1メートル四方の産業用ドローンを町で購入して、苗木運搬の実証を行い、ドローンの貸与事業を実施しております。また、昨年10月には、町内の若手林業従事者等を対象にアシストスーツの現地検討会を実施しました。今後はアシストスーツの導入費の補助を行い労務負担の軽減を進めてまいります。

農業の分野でも、令和5年度から、国や茨城県と連携して、担い手の方への農地の集積に向けた農地整備事業の開始が予定されています。大規模な農地整備事業としては、大子町では26年ぶりとなる事業で、約25haの区域で、田畑の区画整理と併せて用排水路や農作業道等を一体的に整備し、地域農業が将来にわたって持続的に発展していけるよう基盤づくりを進めます。

動く行政⑦ 教育の充実

未来を担う子どもたちには、大子町にいても先進的な教育



全方位、アウトドア。自然基地大子町



だいが茶房



道の駅奥久慈だいがサイクルステーション



町内初のスポーツジム「Forespo（フォレスポ）」



事業所での太極拳レッスン



ドローンによる苗木運搬



林業へのアシストスーツ導入

を受け、将来の夢を実現してほしいと考えております。このため、町では、町内小中学校の全児童生徒にタブレット端末を配布してICT教育の実践に取り組むほか、英語教育にも力を入れ大きな効果が出てきています。町内の中学2年生を対象に、福島県天栄村にあるブリティッシュヒルズにおいて英語研修を実施し、英語でのコミュニケーションや外国文化に触れる体験を通じて、学校での英語学習の意欲向上とともに異文化交流の考えを深める機会としています。



ブリティッシュヒルズにおいて英語研修を実施

また、町内には県立高校の大子清流高等学校がありますが、現在生徒数は減少傾向であり、町全体で活性化を図る必要があると感じています。県立大子清流高校は、当町のまちづくりにおいても若い世代が集う貴重な共創パートナーであり、人材育成だけでなく地域振興をはじめ必要不可欠な存在です。このため、今年度から、大子町内の有識者、PTA、学校の職員、教育委員会が大子清流高校と連携し、大子清流高校の魅力アップのアイデアや町全体の教育像を描き、町内外の中学生が進学したくなる大子清流高校を目指す取り組みを始めております。

動く行政⑧ その他建築に係る事業

公共施設としましては、動く行政①のところでも申し上げました「防災道の駅」の新たな事業が控えております。旧庁舎跡



インタビューの様子

地において町民にとって有益な施設を計画中です。現在の道の駅は一昨年のリニューアルにより、多くのお客様にお越しいただいております。防災道の駅と併せて、町の賑わいを創出していきたくと考えております。

一方で大きな課題が、町で運営する温浴施設の利活用です。施設の老朽化とともに収益のバランスが合わなくなっています。アイデアを出しながら解決していきたいです。

町内に住まわれている方の住居に関しましては、空き家を有効活用して移住・定住の促進による地域の活性化を図るため、「空き家バンクの事業」を積極的に行っております。昨年度は、25件の移住・二地域居住を実現しました。これまでのべ160件の空き家登録があり、そのうち紹介可能数は37件となっています(2022年10月時点)。

空き家バンクに登録すると、空き家バンクリフォーム助成金や空き家片付け支援補助金制度が利用できます。空き家バンクリフォーム助成金では、最大で空き家の所有者は50万円、利用者側は70万円の助成金が出ます。

また、空き家以外に、大子町に住んでいただくための個人住宅のリフォームに係る助成制度を充実し、町民の皆さまに喜ばれております。それぞれ一定の条件はありますが、茨城県産材を使って町内に自ら居住するための住宅を新築する方には最大100万円の助成金を交付しています。さらに、子育て世帯住宅建設助成金では、新築住宅建設の場合は最大で200万円、新築住宅購入の場合は最大で150万円の助成金が受けられます。

このように、住みやすい町を目指して、建築の面からも「日本一幸せな町づくり」の実現に大きく寄与する様々な施策を進めてまいります。

新庁舎の誕生や既存施設のリニューアルを含め、時代の流れの速さに順応し、組織や仕事の質、能力を向上させ、「日本一幸せな町づくり」に全力を投入いたしますので、茨城県建築士事務所協会様、会員の皆様には今後とも、なお一層のご理解と、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

大子町
〒319-3521
茨城県久慈郡大子町大字北田気662番地
電話 0295-72-1111(代表)
URL <https://www.town.daigo.ibaraki.jp/>
面積:325.76平方キロメートル
(令和4年10月1日現在)
人口密度(総面積1平方キロあたり):
45.8人(令和4年10月1日現在)
常住人口:14,932人(令和4年10月1日現在)
世帯数:6,242世帯(令和4年10月1日現在)

第5・6回 水戸まちなか空き店舗見学ツアー

日時/第5回 令和4年1月16日(日)

/第6回 令和4年7月24日(日)

報告/景観まちづくり委員会委員長 浅野 祐一郎

第5・6回 水戸まちなか 空き店舗見学ツアーに同行して

水戸まちなか空き店舗を見学するツアーを2回開催しました。

過日第5回・第6回の「水戸まちなか空き店舗見学ツアー」に景観まちづくり委員会の建築士も同行し、活用方法などについてアドバイスをを行いました。その様子を報告します。

第5回目

第5回目は1月16日に行われ、11人の応募参加者がありました。今回は、南町の空き店舗を7件紹介しました。本事業は、空き店舗物件と出店希望者をマッチングする機会を設けて、空き店舗を解消していくことで商店街の連続性を創出し、中心市街地全体の魅力を向上させることが目的としています。見学の前に、商圈、商店会、水戸市で創業するにあたって得をする情報、水戸まちなか空き店舗ナビ、Wagtail、リフォーム事例などを説明・紹介しました。

物件紹介後には個別相談会を実施し、参加者から「詳細な説明が大変わかりやすかった」という声があり、好評でした。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から午前と午後に分けて少人数で実施しました。主催は、会議所と都市再生推進法人「まちみとラボ」。協力は、香陵住販、茨城県建築士事務所協会などです。



第6回目

続いて第6回目は、7月24日に開催され、新規出店を希望する14人が南町・泉町の空き店舗を見学し、7物件を紹介しました。今回の主催・協力も前回同様でしたが新たに水戸市商業・駐車場公社にも参加協力を頂いての実施となりました。見学の前に、マチノイズミで今回紹介する地区の商圈分析や創業時に使える融資制度、補助金の活用方法などさまざまな情報を提供したほか、水戸市商業・駐車場公社が実施する創業に役立つセミナーや相談会を案内しました。今回も物件紹介後に、個別相談会を実施しました。参加者から物件の詳細や融資などについて質問が寄せられ、真剣に出店を検討している様子が伺えました。これらのツアーで紹介した物件は、水戸まちなか空き店舗ナビに記載しているので、詳細を知りたい場合はホームページで確認することができます。これらの活動は来年度も実施予定のことです。

今後も景観まちづくり委員会も出来る限り協力し、水戸のまちづくりに貢献できればと考えています。

お問い合わせは、産業振興課(TEL:029-224-3315)まで。水戸まちなか空き店舗ナビ <https://mito.inetcci.or.jp/akitenponavi/>

建築士事務所キャンペーン in 建設フェスタ2022

国内でも最大級の建設イベント「建設フェスタ2022」が2年の休止を経て開催され、当協会も「建築士事務所キャンペーン」を行って参りました。当日のキャンペーンの様子を紹介します。

茨城県内の公共団体や建設関連団体が一体となって暮らしや社会資本整備と建設産業の魅力を広く県民に伝えることを目的とするイベント「建設フェスタ2022」が、コロナウイルス感染による休止を経て10月8日(土)に3年ぶりにひたちなか市の笠松運動公園にて開催され、当協会も小室副会長をはじめ総務委員会、会員委員会、事務局の皆様のご協力のもと、「建築士事務所キャンペーン」を行って参りました。

当日は穏やかな秋晴れの広がるイベント日和で、親子連れを中心に約15,000人もの来場者(主催者発表)があり朝から賑わいを見せていました。

本協会の会場では毎年恒例となっている「苗木等の配布」、「ストローハウス」のほか、「学生建築展の審査」の映像公開や「建築文化賞等の受賞作品」「会員住宅

作品」のパネル展示を行いました。今年も「苗木等の配布」では2回の配布時間前から長い列ができていましたが、今回で一番の盛況を見せていたのは、ストローとクリップで思い思いの形を作る体験型のワークショップ「ストローハウス」で、朝から列をなすほどの人気ぶりでした。参加者の方々は材料をどのように組み合わせれば希望の形になるのか試行錯誤しながら夢中になっている様子でした。

今回は例年会場となっていた山新スイミングアリーナ前の広場から感染対策がしやすい駐車場で開催となりましたが、閉会時間直前までコロナ前を思わせる程の賑わいを見せていました。この「建築士事務所キャンペーン」で地域の皆様が建築に少しでも興味を持つきっかけとなれば幸いであると感じました。



ストローハウスの様子



苗木配布の設置テント前



苗木配布の様子






Facade

Pal SYNTHESIS DESIGN 株式会社 **パル総合設計**

〒 310-0852 水戸市笠原町1050-1アークビル2F TEL. 029-243-0540(代) FAX. 029-243-0548
E-mail: arc@pal-sogo.co.jp



認定こども園 下館聖母 園舎改築工事

株式会社 **根本建築設計事務所**

代表取締役 根本 洋一郎

〒 311-4141 水戸市赤塚二丁目 2005の80
TEL 029-252-6777
FAX 029-252-6684
<http://www.nemotosekkei.com>

設計・監理



株式会社
須藤隆建築設計事務所

代表取締役 須藤 とく

〒300-0034
茨城県土浦市港町 1-7-23 ホープビル 9F
TEL.029-822-4362(代) FAX.029-822-4394

建築設計・監理 耐震補強 特殊建築物定期報告

Architectural Design

株式会社 相澤建築設計事務所

代表取締役 相澤 晴夫

〒300-1256 茨城県つくば市森の里1169-2
TEL : 029-876-0617 FAX : 029-876-0679
E-mail : info@aizawa-arc.co.jp
URL : http://aizawa-sekkei.com/



セメント生コン販売代理店、パイル販売代理店

常陸大理石株式会社

代表取締役 梶山治夫

本社 〒313-0042 茨城県常陸太田市磯部町132 ☎0294-72-1234 (代)
東京営業所 〒113-0034 東京都文京区湯島2-2-1 東邦深澤ビル/6C ☎03-3813-3951 (代)
<http://www.stone.co.jp/>

■企画・設計・監理



株式会社 戸頃建築設計事務所

代表取締役 所長 小川 憲一

〒310-0043 水戸市松が丘1-2-23 TEL : 029-226-4869(代) FAX : 029-226-4894

E-mail : tokoro@mbb.nifty.com

今日も一日安全作業
土木建築鉄筋工事業一式

株式会社 大平組

代表取締役 大平 智彦

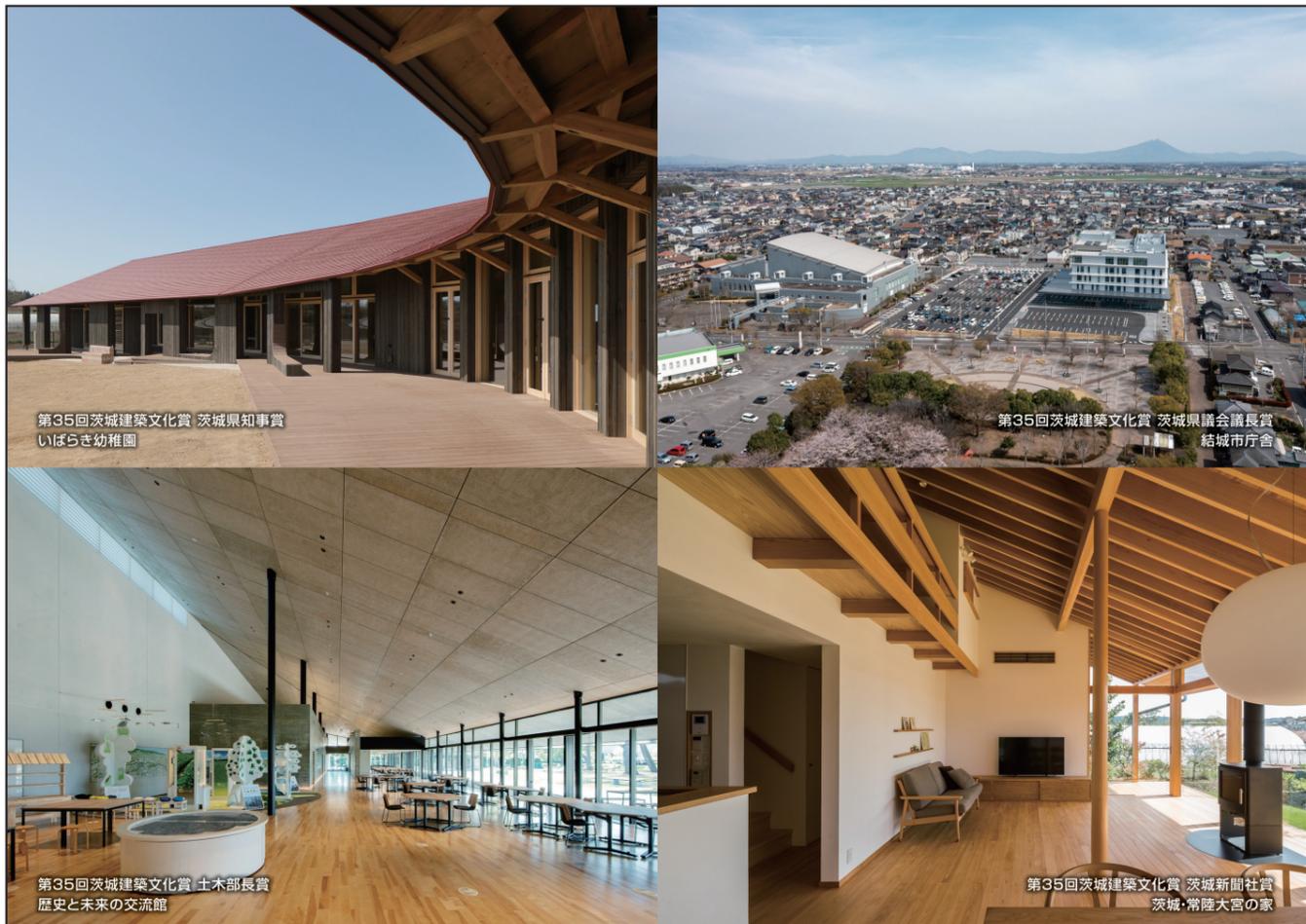


〒311-4144 茨城県水戸市開江町1590-4 電話:029-252-1772 FAX:029-254-2888
URL : <http://www.oohiragumi.jp> E-mail : info@oohiragumi.jp

2022年度 経営スローガン

一致団結 一人はみんなのために、みんなは一人のために

一般社団法人茨城県建築士事務所協会認定 茨城県優良鉄筋施工業者



第35回茨城建築文化賞 茨城県知事賞
いばらき幼稚園

第35回茨城建築文化賞 茨城県議会議員賞
結城市庁舎

第35回茨城建築文化賞 土木部長賞
歴史と未来の交流館

第35回茨城建築文化賞 茨城新聞社賞
茨城・常陸大宮の家

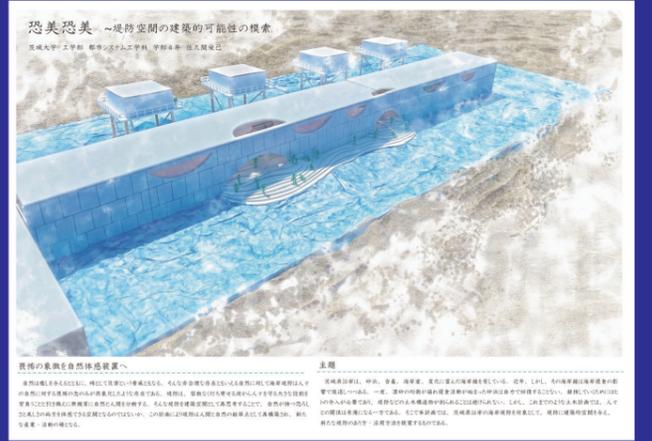
第36回(令和4年度) 茨城建築文化賞作品募集

■応募方法 応募用紙にご記入のうえ、下記まで御応募ください。詳しくは、協会HPの応募要綱をご覧ください。
〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978-30 建築会館2階
一般社団法人 茨城県建築士事務所協会 事務局
TEL.029-305-7771 FAX.029-305-7791
HPアドレス <https://www.i-jk.org>

■応募期間 **令和5年1月4日(水)から2月28日(火)まで**

■審査委員 熊澤 貴之 氏 (国立大学法人茨城大学 工学部都市システム工学科 教授)
加藤 研 氏 (国立大学法人筑波大学 芸術系 助教)
梅本 舞子 氏 (国立大学法人筑波技術大学 産業技術学部産業情報学科 准教授)
山田 陽一 氏 (茨城県土木部都市局建築指導課長)
小沼 紀男 氏 (一般財団法人茨城県建築センター 理事長)
柴 和伸 氏 (一般社団法人茨城県建築士会 会長)

■主催 (一社)茨城県建築士事務所協会
■協賛 (一財)茨城県建築センター・(一社)茨城県建築士会
(一社)茨城県設備設計事務所協会・(一社)茨城県建設業協会
■後援 茨城県・(株)茨城新聞社・(株)日本工業経済新聞社・(株)日本建設新聞社・(株)建設未来通信社
(一社)茨城県建築士事務所協会への入会につきましては、当協会までお問い合わせください。



第9回 茨城学生建築展

展示期間 2023.3/1 wed~
(一社)茨城県建築士事務所協会のHP上で作品を公表いたします。
(一社)茨城県建築士事務所協会ホームページURL <https://www.i-jk.org>



趣 旨

本協会は、建築文化の向上と発展に努め、公共の福祉の増進ひいては地域文化の活性化に寄与することを旨として活動しています。「茨城学生建築展」は、こうした趣旨の一環として発足しました。この賞は、県内に建築系学科を有する学校各位と連携のもと、優秀な作品を表彰し、学生諸君にエールを贈ると共に、交流を深め、建築設計業界が社会に貢献するための下地作りを目的として実施するものです。

前 回
参加校
一 覧

- 国立大学法人 筑波大学
- 国立大学法人 茨城大学
- 国立大学法人 筑波技術大学
- 筑波研究学園専門学校
- 水戸日建工科専門学校
- 文化デザイナー学院
- 茨城県立 つくば工科高等学校
- 茨城県立 水戸工業高等学校
- 茨城県立 下館工業高等学校

主催 一般社団法人 茨城県建築士事務所協会

〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2階 TEL 029-305-7771 FAX 029-305-7791 <https://www.i-jk.org>

協 賛 / (一財)茨城県建築センター (一社)茨城県建築士会 (公社)日本建築家協会関東甲信越支部茨城地域会
(一社)日本建築学会関東支部茨城支所

後 援 / 笠間市 (株)茨城新聞社

協賛企業 / (株)建築資料研究社/日建学院 総合資格学院宇都宮校 植田防水工業(株) ミナト防災通信工業(株) 第一熱学建設(株)
(株)新日東 アイジー工業(株) 暁飯島工業(株) 阿部興業(株) (株)アルク (株)安心確認検査機構
(株)EMI確認検査機構 (株)梅山工業所 (株)エコウッド (株)岡村地質 (株)角藤 元旦ビューティ工業(株) 草苺木工(株)
三晃金属工業(株) 三和シャッター工業(株) (株)ジャパンエコーサービス センター電機(株) (株)染野製作所
(株)大成設備工業 (株)ダイフレックス (有)但野商店 秩父ケミカル(株) TOTO(株) (株)奈良屋 ニチハ(株)
根本電興(株) 能美防災(株) 常陸大理石(株) (株)日立ビルシステム (株)フジクリーン茨城 文化シャッター(株)
北海道パーケット工業(株) 前田製管(株) 三谷セキサン(株) (株)LIXIL YKKAP(株) 和知商事(株)



New member introduction

新会員紹介 2023.January



正会員

アトリエ03建築設計事務所
岡野 貴之
〒305-0023
つくば市上ノ室526番地
tel.029-879-7077



賛助会員

積水テクノ成型株式会社
有山 裕介
〒105-8566
東京都港区虎ノ門2-10-4
tel.03-5526-2750



正会員

サウンドホーム株式会社
佐藤 賢二
〒311-3121
茨城町谷田部1000-1
tel.029-303-8135



賛助会員

株式会社 エフワンエヌ
富永 健太
〒362-0811
埼玉県北足立郡伊奈町西小針6-35
tel.048-729-2727



正会員

一級建築士 伊沢総合建築研究所
伊沢 勝義
〒302-0023
取手市白山4-2-12 白山ハイツ2階
tel.0297-74-5775



賛助会員

阿部興産株式会社
阿部 元二
〒302-0031
茨城県取手市新取手3-5-15
tel.0297-70-2671

随時、新会員を募集しております。皆さまよろしくお願いたします。

会員変更事項一覧 (令和4年9月~11月)

会員に変更が生じたので会員名簿の変更をお願いします。

正・賛	事務所名	会員名簿 ページ	変更事項	変更後
正 会 員	(株)秋山工務店	21	会員名	秋山 芳久
	(株)岡部工務店一級建築士事務所	21	事務所名	(株)オカベ一級建築士事務所
	石井邦明デザインスタジオ一級建築士事務所	25	住所	水戸市見川3-1069-1
	(株)茨城木材相互市場	26	会員名	大谷 知行
	仙波建築設計事務所	34	会員名	松田 豊
	NKハウジング(株)	46	会員名	海老原 正美
	シンク設計事務所	49	会員名	辰野 峻也
賛 助 会 員	(株)関東エンジニアリングサービス	63	アドレス	Infosek192@kantoueng.co.jp
	高橋商事(株)	64	会員名	高橋 正光
	(株)総合資格水戸支店	78	事務所名	(株)総合資格宇都宮支店
			会員名	石堂 央記
住所			〒320-0801 栃木県宇都宮市池上町4-2アソルティ宇都宮8階	
		TEL/FAX	028-614-4881/028-614-4877	

Editors Voice

編集後記 2023.January

新年あけましておめでとうございます。会報誌発行にあたり、記事を出筆頂いた会員の方々並びに広告掲載にご協力を賜りました事業者、会員の方々にこの場をお借りして心より厚く御礼申し上げます。今回の77号の特集は、大子町長を訪問しました。令和元年の水害から復旧を概ね終えながら、次の復興へ向けていろいろと考えてお

られる高梨町長のビジョンや現在の状況が記載されています。そして今号の表紙は、訪問した経緯から大子町の写真を記載しようと検討していた際に掲載したものを採用しました。生瀬富士の山頂から少し北に向かうとある「茨城のジャングル」と呼ばれている小高い岩峰の写真です。「ジャングル」聞きなれない語彙ですが、

調べると本来の意味はフランス語で国家憲兵のことを言うようです。転じて山岳用語としては、主峰を守るように山稜上に立ちただかる塔上の岩峰、言い換えると通行を邪魔する岩のこのようです。この素晴らしい景色の表紙と共に、皆様にとっても良き一年になることを祈念いたします。本年も宜しくお願いいたします。(山田)



日立市かみね動物園 新猛獣舎

MITSUO YOKOSUKA
ARCHITECTURAL CO., LTD.

(株)横須賀満夫建築設計事務所

事務所 / 茨城県水戸市南町2-1-18 アーキビル 〒310-0021
TEL.029(225)4353 FAX.029(225)1794
東京支店 / 東京都杉並区梅里1-3-12 テラスキョウ101号室 〒166-0011
TEL-FAX.03(5378)6617
つくば営業所 / 茨城県つくば市高見原3-1-23 アメニティー高見原202 〒300-1252
TEL.029(896)3978 FAX.029(896)3968
URL <http://www.design-yokosuka.co.jp> E-mail yokosuka-mitsuo@bea.hi-ho.ne.jp

HAN

設計・監理

(有)汎連合設計



スーパーマーケット学園の森店

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町1214-3 齊藤ビル2F
TEL 029-244-5472 FAX 029-244-5482
E-mail han-sekkei@msj.biglobe.ne.jp



会報 茨城 IBARAKI

一般社団法人 茨城県建築士事務所協会

会報[茨城] 2023年1月 第77号

発行 ● 令和5年1月1日(年2回発行)

発行部数 ● 800部

発行者 ● 一般社団法人 茨城県建築士事務所協会 会長 舟幡 健

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978-30 建築会館2階

TEL.029-305-7771 FAX.029-305-7791

ホームページ <https://www.i-jk.org> Eメール ikyokai@i-jk.org

制作 ● (株)メディアクロス水戸

編集メンバー

小室 晶 大山 早嗣 富田 清一 和田 淳一

山田 一博 茂垣 直樹 鈴木 啓之 菊池 洋次

福田 明良 石坂 健一 北村 廣美



一般社団法人 茨城県建築士事務所協会
<https://www.i-jk.org>